北方領土Facts&Figures

択捉島

択捉島の様子

択捉島面積は北方領土全体の63%で、北方諸島最大の島である。島の90パーセントは山岳地帯で、平地は少ない。噴火を続ける火山がうつあり、至る所に温泉が湧く。

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-01.html

択捉島の産業

鮭鱒の主要漁業において、はとんどが会社や企業の経営であり、出稼者によって漁獲処理されていた。鮭、鱒他、その他の雑漁は零細土着漁民の経営であった。豊大な国有林があり、林業も盛んだった。

鮭鱒の主要漁業（千島）　写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-industry-04_01.html

北海道庁千島調査所　1939年

昭和14年2月23日に北海道庁千島調査所が紗那村(しゃなむら)に設置され、千島開発のための土地利用区分等を調査していたが、第二次世界大戦の勃発によって3年間で調査が打ち切られた。

千島調査所（調査員と調査船）（紗那村）1939（紗那村紗那地区紗那）
写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

紗那調査所行き自転車（紗那村紗那地区紗那）
写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-04-file-06_02.html

紗那村の官公署　1939年

紗那村には紗那村役場をはじめとして14の官公署が存在した。

紗那役場前で記念撮影（紗那村紗那地区紗那）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

紗那警察署で記念撮影（紗那村紗那地区紗那）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-04-file-05.html

内岡湾　~1945年

紗那湾（しゃなわん）の北事業に位置している。湾口は西に向いていて、台場の島とイカバノ鼻との間に湾形を形成している。湾の奥には天然の船渠（ふなま）のような小さな湾がある。

内岡湾北岸より（紗那村紗那地区アヨロ）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

内岡日本郵船等（紗那村紗那地区アヨロ）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-04-gen-04_03.html

散布山　~1945年

散布火山は、南北に連なる北散布山（1,561m）と南散布山（1,587m）の2つの山からなる。両山とも大きな馬蹄型の爆裂火口を持ち、火口は西側いずれも崩れている。

南散布山（紗那村散布山地区散布山）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-04-gen-04_05.html

紗那湾（しゃなわん）　~1945年

紗那湾は、南入場7km後の梅川町をなす単冠湾（ひとかっぷわん）は、択捉島の太平洋岸における唯一の大湾である。湾口は南東に向かって開いている。

紗那湾と海岸（紗那村年萌地区年萌）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-04-gen-04_11.html

留別村の鱈漁業　1892年

択捉島の鱈漁業が有望であると知られるようになったのは、明治25年に本間長左衛門が来島し、川崎船一隻で45石（2,160貫）の水揚げをしてからである。

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-industry-02_05.html

留別川と留別湾　~1945年

留別川は、択捉島の中部高地を水源とし、小田原山（おだわらやま）水源の支流と合流して川幅15mとなる。留別湾は留別湾の南東に位置し、択捉定期航路の寄港地でもあった。

留別川と市街の風景（紗別村留別地区留別）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

エトロフ、留別の海岸（昭和12年）
留別の海岸（昭和12年）（紗別村留別地区留別）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-gen-05_06.html
https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-gen-05_06.html

紗万部港（しゃまべ）　~1945年

港の後方は山麓が海に迫り、後方を山岳地帯に守られ、湾口が東南に開いていることから北西からの風波の影響が非常に少なく、択捉島の西海岸におけるこの上ない避難港だった。

紗万部と散布山（紗那村散布山地区散布山）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-04-gen-05_03.html

別飛湾（べっとぶ）　~1945年

港の北側に散布半島の断崖が存在し、西側一帯は砂浜である。沿岸付近には岩礁が点在し、水深は大変浅く港湾で外あり、中央部に、やや深い箇所があり、漁船の接岸には絶好の容易であった。

別飛湾を望む（紗那村別飛地区別飛）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

ビで海岸中（紗那村別飛地区別飛）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-04-gen-05_04.html

択捉島水産会　1919年

「水産業の改良発達を図る」ことを狙いとして設立された択捉島水産会であったが、当初の主な事業は、水産物の製品検査と各種水産資源の保護であった。また、行政官庁の補助機関的な立場として各種指導事業も行っていた。

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-industry-05_03.html

紗那湾と紗那川　~1945年

紗那湾は、択捉島の西海岸のほぼ中央に位置しオホーツク海に面するため、秋冬期の北西風を直接受け、冬期の海内は凍結する。紗那川は、択捉島中部の高地（さしうすやま）が水源。紗那市街でオホーツク海に流入する。

紗那湾で水浴を楽しむ子供達（紗那村紗那地区紗那）
写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

紗那市街風景より（紗那村紗那地区紗那）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-gen-05_05.html
https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-gen-05_07.html

択捉島の鮭鱒孵化事業　1941年～44年

鮭鱒の人工孵化事業は、択捉島において最初でかつ最後であった。最盛期には官営・民営による事業場が18箇所存在した。

紗那川への孵化場（紗那村紗那地区紗那）
写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

紗那孵化場（紗那村紗那地区紗那）
写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-industry-06_04.html

年萌港（としもえ）　~1945年

年萌港は、不凍港で水深も深いが湾口が広いので波浪が高く、停泊地には適さなかった。地元の漁業者の多くは海藻採取を主な仕事としていた。

年萌の町（紗別村年萌地区年萌）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

年萌で開催の記念写真（紗別村年萌地区年萌）写真提供：千島歯舞諸島居住者連盟

https://www.spf.org/islandstudies/jp/info_library/northernterritories-03-gen-05_10.html

衛星画像 ©Geoscience, NTT DATA, RESTEC / Included©JAXA

【主な引用文献】

われらの北方領土2015年版
沖縄・北方対策庁『北方地域総合実態調査書（国後島の部）』（1970年）
沖縄・北方対策庁『北方地域総合実態調査書（択捉島の部）』（1971年）
沖縄・北方対策庁『北方地域総合実態調査書（歯舞群島の部）』（1970年）
沖縄・北方対策庁『北方地域総合実態調査書（色丹島の部）』（1970年）
北海道総務部『戦前における歯舞・色丹・国後・択捉諸島の概況』
北海道『千島調査書』（1956年）
領土復帰北方漁業対策本部『色丹島及び歯舞諸島調査書』（1956年）
歯舞漁業協同組合特別企画室『終戦前に於ける歯舞諸島沿岸漁業調査資料』（1956年）
日本捕鯨協会　『1941年以降沿岸捕鯨統計』（1954年）
北方領土文化日露共同学術交流実行委員会『北方領土の神社』（2005年）
南方同胞援護会編『北方地域資源調査書（昭和36年3月）』（1961年）
田中薫・大野笑三『色丹島概説』（1940年）
北海道農事試験場根室支場調『千島調査資料』（1935年）